

# おきなわ監督署だより 5月号

(平成26年5月19日 沖縄労働基準監督署 発行)

## お知らせ 1

平成26年1月～4月までの業種別労働災害発生状況（沖縄労働基準監督署管内）



全体的に減少傾向が続いています。引き続きがんばりましょう。

全産業の死傷者数は、53件と前年比22.1%減と更に減少してきました。

製造業は、前年比37.5%の増加となっています。

建設業は、前年比52.6%減少し、昨年大幅に増加した建築工事業も昨年同期の16件と比較し10件減少して62.5%減となっています。

第三次産業も全体的には減少傾向にあり、昨年大幅に増加した保険衛生業も22.2%減となっています。中でも、昨年大幅に増加した社会福祉施設が5割も減っています。

平成26年4月末（速報値）

50%以上減 ■

50%以上増 ■

100%以上増 ■

	平成26年	平成25年	増減の状況 (対前年比)	
	死傷(死亡)	死傷(死亡)	死傷者数	増減率(%)
全産業	54(1)	68(1)	-15	-22.1
製造業	11	8	3	37.5
食料品製造業	9	7	1	14.3
建設業	9(1)	19(1)	-10	-52.6
土木工事業	1(1)	3	-2	-66.7
建築工事業	6	16(1)	-10	-62.5
その他の建設業	2	0	2	
運輸業	1	1	0	
陸上貨物運送業	1	1	0	
第三次産業 (運輸を除く)	32	38	-6	-15.8
商業	7	9	-2	0.0
接客娯楽業	5	5	-2	-22.2
保健衛生業	7	9	-2	-28.6
社会福祉施設	4	8	-4	-50.0
ビルメンテナンス業	2	5	-3	-60.0
その他の業種	11	8	3	0.0
警備業	1	1	0	
駐留軍間接雇用	4	2	2	100.0

～ 飲食店経営者及び店長等店舗責任者のための ～  
「雇ったらちゃんと守るべきルール」説明会を開催しました。

飲食店においては、「店舗内での滑り、つまづきによる転倒」、「食品加工用機械による切傷」、「厨房内でのやけど」などの労働災害が増加傾向です。

また、労働条件の不明示等による労使間のトラブルなどの労働相談も後を絶ちません。

そこで、おきなわ監督署では、飲食店の経営者や店長などを対象に労務管理と安全衛生管理のポイントを学んでいただくため、下記のとおり説明会を開催しました。

参加人数は30名程度でしたが、今回出席できなかった店長等の皆様のために、当日の配布資料等をダウンロードできるようにしましたので、ぜひご活用ください。

開催日時 平成26年4月25日(金) 午後2時～4時  
会場 沖縄県工業技術センター (うるま市州崎12-2)

内容

① 雇ったらちゃんと守るべきルールについて [配付資料ダウンロード](#)

② 労働災害 を起こさないために [配付資料ダウンロード](#)

飲食店の災害事例 [配付資料ダウンロード](#)

④ 労働災害防止活動(危険予知活動)  
4S活動の取組について [配付資料ダウンロード](#)

食品加工用機械の安全について [配付資料ダウンロード](#)



熱心に耳を傾ける参加者のみなさま

## 沖縄中部地区・建築工事ゼロ災運動実施要綱（平成26年度） を策定しました。

平成25年に大幅に労働災害が増加（前年比28.9%増）した管内の建築工事業について、労働災害増加傾向に何とか歯止めをかけることを目的とし、おきなわ監督署は、建設業災害防止協会沖縄支部中部分会の協力をいただき、この4月「沖縄中部地区・建築工事ゼロ災運動実施要綱」を策定しました。

管内で工事を行う皆様には、この要綱の趣旨を理解していただき、「事業主によるゼロ災宣言」「安全点検の強化」等要綱に沿った取組をお願いすることとしています。

### 主な内容

実施期間	平成26年4月～平成27年3月
スローガン	「現場の点検強化して おきなわ中部ゼロ災へ！」
目 標	平成25年と比較して、平成26年に沖縄署管内で施工する建築工事業の死傷者数を20%以上削減する。
主な実施事項	・事業者の「ゼロ災宣言」に基づく安全衛生管理活動の強化 ・現場の安全点検の強化 ・関係機関・団体連携によるパトロールの強化 Etc.

詳しくはココをクリック

[ゼロ災運動実施要領](#)



安全1番 作業は2番 朝の点検 帰りの整頓 ヨシ！！

## 沖縄中部地区・建築工事ゼロ災運動推進大会を開催します！

沖縄中部地区・建築工事ゼロ災運動実施要綱による取組のお願いとゼロ災に向けた決意を新たにする目的で、おきなわ監督署は、建設業労働災害防止協会沖縄県支部中部分会（建災防）の協力を得て、下記のとおり「沖縄中部地区・建築工事ゼロ災運動推進大会」を開催することにしました。

中部地区で工事を行う皆様の御参加をお願いします。

### 記

- 名 称 沖縄中部地区・建築工事ゼロ災運動推進大会
- 日 時 平成26年5月27日（火） 午後2時から3時30分
- 場 所 沖縄市農民研修センター（沖縄市登川2380）
- 次 第
1. 黙とう
  2. 沖縄労働基準監督署長あいさつ
  3. 労働災害発生状況説明（おきなわ監督署）
  4. ゼロ災運動実施要綱の説明（おきなわ監督署）
  5. 現場の安全点検について（建災防安全指導員）
  6. わが社の取組事例（株式会社 竹中工務店）
  7. 指差唱和
  8. 閉会のあいさつ（建災防中部分会長）



### 一口メモ 「安全第一」

アメリカ合衆国で誕生したスローガン。20世紀初頭、労働災害が多発していた世界有数の製鉄会社「US スチール」の社長は、社是としていた

「生産第一、品質第二、安全第三」

を思い切って見直し、

「安全第一、品質第二、生産第三」

という経営方針に転換したところ、労働災害がたちまち減少するどころか、品質・生産とも向上したことから、世界中の経営者が唱える労働災害防止のスローガンとして定着しました

ゼロ災宣言をしましょう!

沖縄中部地区・建築工事ゼロ災運動



## ゼロ災宣言 (平成26年度)

### 【期 間】

平成26年4月 ～ 平成27年3月

### 【ゼロ災とするため強化する取組】

- ① 朝礼を確実にを行い、作業ごとに危険予知訓練を行う。
- ② 毎作業開始前に、作業場所の安全点検を確実に行う。
- ③ 毎週1回、社長の安全パトロールを行う。

平成26年度、わが社は、ゼロ災を達成するため、上記の取組を強化します。

平成26年5月27日

会 社 名 有限会社 ホワイト工務店

代表者署名 代表取締役 安全 太郎

## 災害速報

### 【死亡災害】

4月18日午前中、うるま市のヤード内でドラグショベルを使用して再生材をダンプカーの荷台に乗せようとしたところ、斜面になっていたためドラグショベルが転倒し、ダンプカーの荷台にアームないしバケットが激突し、運転席にいた男性労働者（40歳代）が下敷きとなり、窒息死した。

原因は調査中であるが、作業場所の地形、特性に合わせた作業計画の不備、オペレーターの運転技能の未熟等が考えられる。



### 【クレーン等の転倒事故】

4月21日午前中、宜野湾市の共同住宅新築工事現場で、移動式クレーンをくい打ち仕様に組み立て、くい打ちを行おうと、リーダー（油圧ハンマーを取り付ける支柱）及び油圧ハンマーを吊り上げようとしたところ、ブームが折れ曲がりリーダーが倒れた。

人身事故はなかったものの、電線2本を切断し、2000世帯以上が一時停電となった。

原因は調査中であるが、ブームの強度に応じた作業計画が不十分だったと考えられる。



## 労働保険（労災保険・雇用保険）の年度更新は6月からです。

労働保険の年度更新は、毎年6月1日から7月10日までとなっていますが、今年度は、6月1日が日曜日となっていますので、労働保険の申告・納付は、

**6月2日(月)から7月10日(木)**

までです。申告・納付はお早めをお願いします。

**厚生労働省ホームページ**

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/roudoukijun/hoken/roudouhoken21/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/hoken/roudouhoken21/index.html)

お手続きされる皆様の利便を図るため、下記の日程で集合受付を行います。  
ぜひ、ご利用ください。

### 集合受付日程

会場	月日	時間	備考
J A おきなわ宜野湾支店 (結婚式場ジュピランス)	6月24日(火)	10:00	6月は、会場での 納付受付は、 行っておりません。
沖縄商工会議所	6月27日(金)		
J A おきなわ宜野湾支店 (結婚式場ジュピランス)	7月8日(火)	~	
沖縄商工会議所	7月9日(水)	16:00	
沖縄商工会議所	7月10日(木)		

### 沖縄労働基準監督署

〒904-0003 沖縄市住吉1-23-11 沖縄労働総合庁舎3 (098) 982-1263

賃金・解雇・年休・サービス残業・過重労働・パワーハラスメントなどの

労働相談は、沖縄総合労働相談コーナーへ (098) 982-1400